

T O Y O K N I F E C O . , L T D .



東洋刃物株式會社

2015年3月期第2四半期 決算説明会

2014年12月8日

証券コード：5964

目次

1 . 当社について	・ ・ ・ ・ ・	2
2 . 2015年3月期第2四半期業績概要	・ ・ ・ ・ ・	7
3 . 2015年3月期業績予想および今後の展望	・ ・ ・ ・ ・	15

当社について

会社概要

設 立	1925年8月9日
本社所在地	宮城県黒川郡富谷町富谷字日渡34番地11
代 表 者	代表取締役社長 高橋 允
事 業 内 容	情報産業用刃物、鉄鋼用刃物、製紙パルプ用刃物、製本用刃物、合板用刃物、 その他の工業用機械刃物、産業用機械・部品の製造・販売及び緑化造園
主要取引先	新日鐵住金、JFEスチール、日立化成、日東電工、東レエンジニアリング、THK、三井精機工業
従 業 員	231人(正規従業員)
上場取引所	東京証券取引所(第二部)
発行済み株式数	10,000千株
主 な 株 主	七十七銀行、常陽銀行、自社従業員持株会、日本証券金融、みずほ信託銀行、仙台ビルディング 大同特殊鋼、仙台放送、日本高周波鋼業

2014年9月末現在

沿革

年 月	概 要
1925年8月	各種工業用刃物の国内生産を目的として、東京市麹町で設立（資本金30万円）。
1925年9月	仙台工場落成。
1937年5月	大阪に第二東洋刃物設立後、10月に吸収合併、大阪工場として稼動開始。
1947年7月	本社を仙台市米ヶ袋に移転。
1960年10月	多賀城工場（宮城県多賀城市）を新設。
1961年11月	東京証券取引所 市場第二部上場。
1961年11月	株式会社トオ八設立。
1967年11月	熱研工業株式会社設立。
1970年8月	富谷工場（宮城県黒川郡富谷町）を新設。
1973年7月	東洋緑化株式会社設立。
1976年12月	合併にて韓国に東洋鋼業株式会社を設立。
1977年9月	大阪・多賀城・富谷各工場の充実のため、仙台工場を売却。
1977年9月	本社を仙台市港四丁目に移転。
1978年3月	資本金を5億円に増資。
1997年4月	富谷工場を増設。
2004年1月	中国現地法人 上海東優刃物国際貿易有限公司設立。
2011年7月	東日本大震災により被災したため、本社を宮城県黒川郡富谷町に移転。
2012年2月	大阪工場を富谷工場へ移転。富谷工場の一事業所として多賀城工場の操業を一部再開（多賀城事業所）。

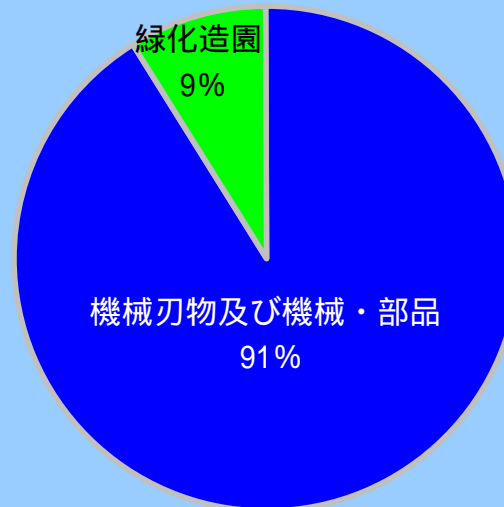
事業構成及び主要製品

国内機械刃物市場でトップクラスのシェア。

緑化造園



2014年3月期売上高
4,755百万円



情報産業用刃物



スリッターナイフ
(ゲーベルタイプ)



サラバネ



スリッティングユニット



高精度移動式ホルダー



コーティングダイ

合板用刃物、製本用刃物、その他



ベニヤナイフ



チップナーナイフ



ダイセット

鉄鋼用刃物



シャープブレード



コールドシャー



スクラップチョッパーナイフ



超硬サイドトリマーナイフ



メカニカルエキスパンドダイス

産業用機械及び部品



刃付平面研削盤



スライドウェイ



刃付丸刃研削盤

製紙パルプ用刃物



段ボールカッター



コアカッター

当社グループの概要



(国内)

東洋刃物株式会社(本社:宮城県富谷町)
 ✓国内・海外市場向け工業用機械刃物の製造・販売、
 産業用機械・部品の製造・販売

生産拠点	主要生産品
富谷	情報産業用・鉄鋼用・製紙パルプ用各種刃物、産業用機械・部品、その他
多賀城	産業用機械・部品、合板用刃物、その他

営業拠点	販売エリア
仙台	東北・北関東(一部)
東京	東京・関東・甲信越・静岡(一部) ・北海道・海外(米国、欧州、その他)
名古屋	東海・北陸・近畿(一部)
大阪	近畿・四国・中国(一部)
広島	中国・九州・四国(一部)

連結子会社	事業内容
(株)トオハ	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
熱研工業(株)	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
東洋緑化(株)	緑化造園工事

2015年3月期 第2四半期業績概要

2015年3月期 第2四半期 決算概要

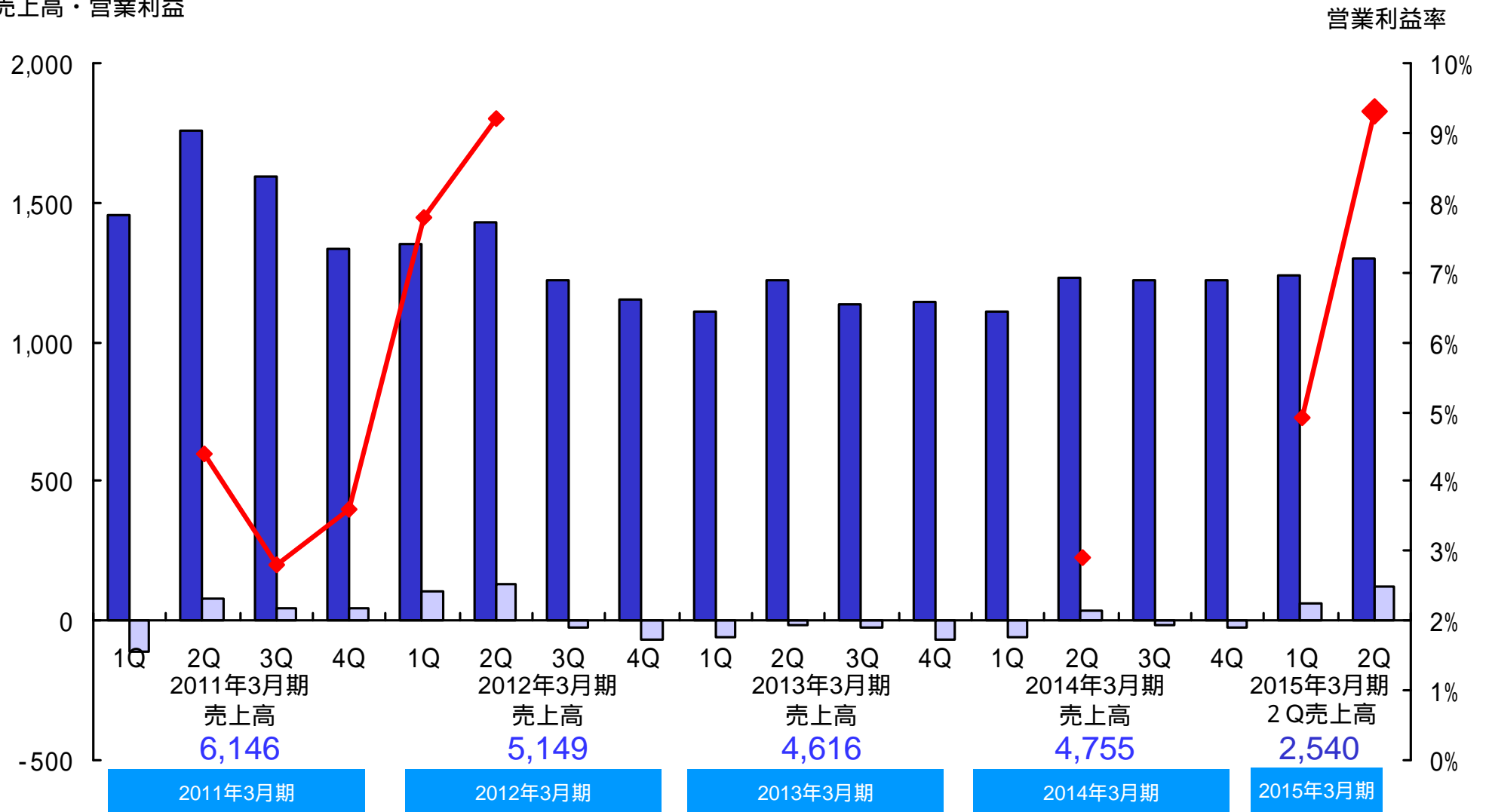
単位：百万円

	2014年3月期 第2四半期		2015年3月期 第2四半期 期初計画		2015年3月期 第2四半期		対前年同期		対計画 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
売上高	2,338	100.0%	2,470	100.0%	2,540	100.0%	201	8.6%	2.8%
売上総利益	496	21.2%			676	26.6%	180	36.3%	
販売費及び一般管理費	515	22.1%			493	19.4%	22	4.4%	
営業利益	19	0.8%	25	1.0%	183	7.2%	202		632.0%
経常利益	53	2.3%	20	0.8%	162	6.4%	216		710.0%
税金等調整前四半期純利益	286	12.2%			162	6.4%	123	43.1%	
四半期純利益	267	11.4%	15	0.6%	131	5.2%	136	51.0%	773.3%
一株当たり四半期純利益（円）	26.78		1.50		13.13				

- ✓ 鉄鋼関連製品、産業用機械・部品を中心に順調に推移し、主力の情報産業用刃物の持ち直しもあり、売上高は前年同期比8.6%増の2,540百万円。
- ✓ 売上高の増加に加え、高精度精密製品比率の上昇、経費削減により、183百万円の営業利益。
- ✓ 純利益は131百万円。（前年同期は投資有価証券売却益174百万円、固定資産売却益185百万円を特別利益に計上。）

四半期業績の推移

単位：百万円
売上高・営業利益



2015年3月期 第2四半期 用途別売上高及びセグメント利益

単位：百万円

	2014年3月期 第2四半期			2015年3月期 第2四半期						
	売上高		セグメント利益	売上高				セグメント利益		
	金額	構成比	金額	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	2,124	90.8%	94	2,300	90.6%	176	8.3%	291	196	207.6%
鉄鋼用	383	16.4%		392	15.5%	9	2.4%			
合板用	118	5.1%		118	4.7%	1	0.5%			
製紙パルプ用	238	10.2%		258	10.2%	20	8.5%			
情報産業用	596	25.5%		605	23.8%	9	1.5%			
製本用	20	0.9%		29	1.2%	8	42.2%			
産業用機械・部品	435	18.6%		504	19.9%	69	15.8%			
その他	330	14.1%		391	15.4%	60	18.3%			
緑化造園	214	9.2%	12	239	9.4%	25	11.8%	16	4	35.6%
合計	2,338	100.0%	107	2,540	100.0%	201	8.6%	308	201	187.5%

✓機械刃物及び機械・部品

【売上高】国内外設備投資需要増にともない産業用機械・部品が前年同期比15.8%と大幅に伸びたのをはじめ、情報産業用、鉄鋼用等も順調に推移し、機械刃物及び機械・部品において8.3%増

【セグメント利益】高精度精密製品の売上構成比率の上昇、減価償却費の減少、経費削減により207.6%増。

✓緑化造園

【売上高】管理業務、造園工事が堅調に推移したことに加え、震災復興関連の動きもあり前年同期比11.8%増

【セグメント利益】工事の進捗率も良く原価率が低減し、前年同期比35.6%増

2015年3月期 第2四半期 地域別売上高

単位：百万円

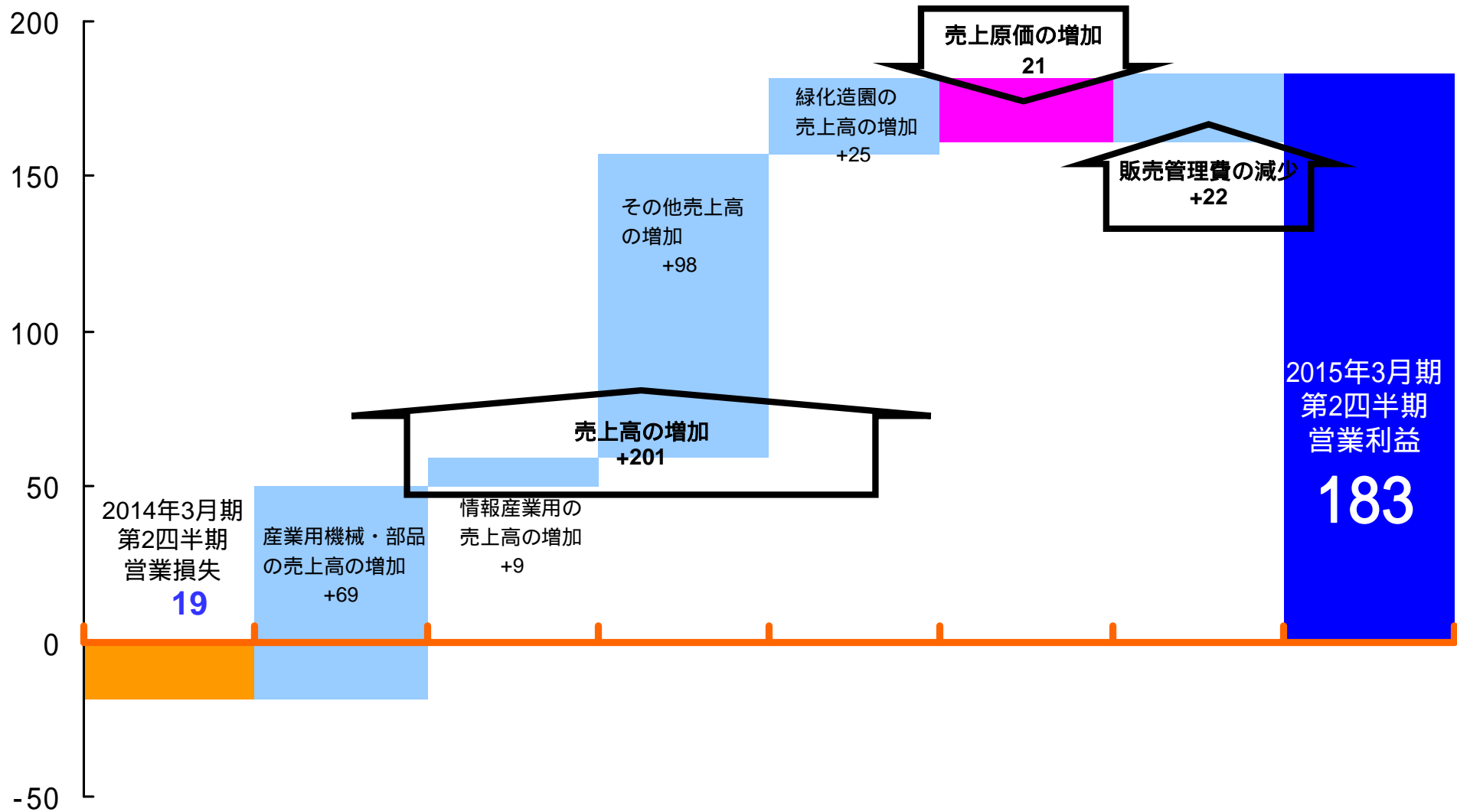
	2014年3月期 第2四半期		2015年3月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
日本	1,997	85.4%	2,208	86.9%	210	10.5%
除く緑化造園	1,783	76.3%	1,968	77.5%	185	10.4%
海外	340	14.6%	332	13.1%	8	2.4%
中国	198	8.5%	166	6.6%	32	16.2%
東南アジア	127	5.4%	127	5.0%	0	0.0%
その他	15	0.6%	38	1.5%	23	153.3%
合計	2,338	100.0%	2,540	100.0%	201	8.6%

【日本】産業用機械・部品が伸び、鉄鋼用、情報産業用も堅調に推移。主力以外の製品売上増も貢献。

【海外】中国向け合板関連の販売減が影響。その他地域において南米向け産業用機械が貢献。

2015年3月期 第2四半期 営業利益（増減要因）分析

単位：百万円



2015年3月期 第2四半期（連結）貸借対照表

単位：百万円

	2014年3月期末		2014年9月期末				主な要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
資産の部							
流動資産合計	3,147	59.9%	3,395	62.2%	248	7.9%	
現金及び預金	860	16.4%	915	16.7%	54	6.3%	
受取手形及び売掛金	1,295	24.6%	1,565	28.7%	269	20.8%	売上高増
棚卸資産	961	18.3%	881	16.1%	80	8.4%	原材料・仕掛品・製品の減少
固定資産合計	2,107	40.1%	2,067	37.8%	40	1.9%	
有形固定資産	1,606	30.6%	1,532	28.1%	73	4.6%	
投資有価証券	402	7.6%	436	8.0%	34	8.5%	
資産合計	5,255	100.0%	5,463	100.0%	207	4.0%	
負債の部							
流動負債合計	3,559	67.7%	3,613	66.1%	53	1.5%	
支払手形及び買掛金	530	10.1%	520	9.5%	9	1.9%	
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,768	52.7%	2,773	50.8%	5	0.2%	
固定負債合計	1,129	21.5%	1,119	20.5%	10	0.9%	
長期借入金	359	6.8%	271	5.0%	87	24.4%	元本の返済
負債合計	4,689	89.2%	4,732	86.6%	43	0.9%	
純資産の部							
資本金	500	9.5%	500	9.2%			
資本・利益剰余金	146	2.8%	230	4.2%	85	13.3%	当期純利益の計上
その他の包括利益累計額	80	1.5%	2	0.0%	78		
少数株主持分	1	0.0%	1	0.0%	0	7.5%	
純資産合計	566	10.8%	730	13.4%	164	29.0%	
負債及び純資産合計	5,255	100.0%	5,463	100.0%	207	4.0%	

2015年3月期 第2四半期 キャッシュフロー（CF）計算書

単位：百万円

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期		
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF	1	155	154	
投資活動によるCF	325	4	329	
（フリーCF）	326	151	175	53.7%
財務活動によるCF	313	95	218	
現金及び現金同等物の増減額	24	51	27	112.5%
現金及び現金同等物の期首残高	624	778	154	24.7%
現金及び現金同等物の四半期末残高	649	830	181	27.9%

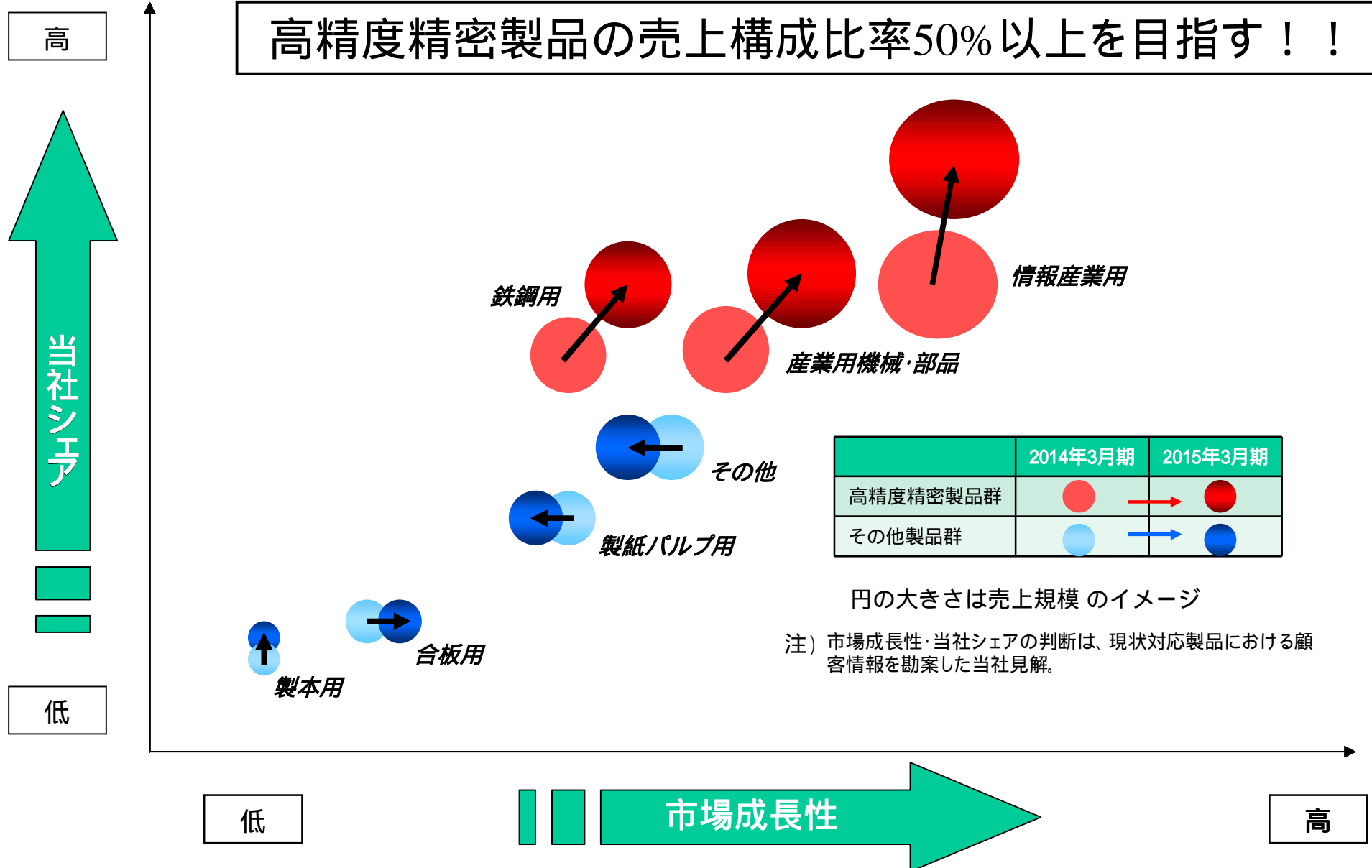
単位：百万円

	2014年3月期		2015年3月期	
	上期	下期	上期	下期（予想）
	金額	金額	金額	金額
設備投資	36	37	27	33
減価償却費	103	105	73	75
研究開発費	14	15	11	15

2015年3月期 業績予想および今後の展望

主要製品の市場性とシェア拡大イメージ

高精度精密製品の売上構成比率50%以上を目指す！！



2015年3月期 業績予想

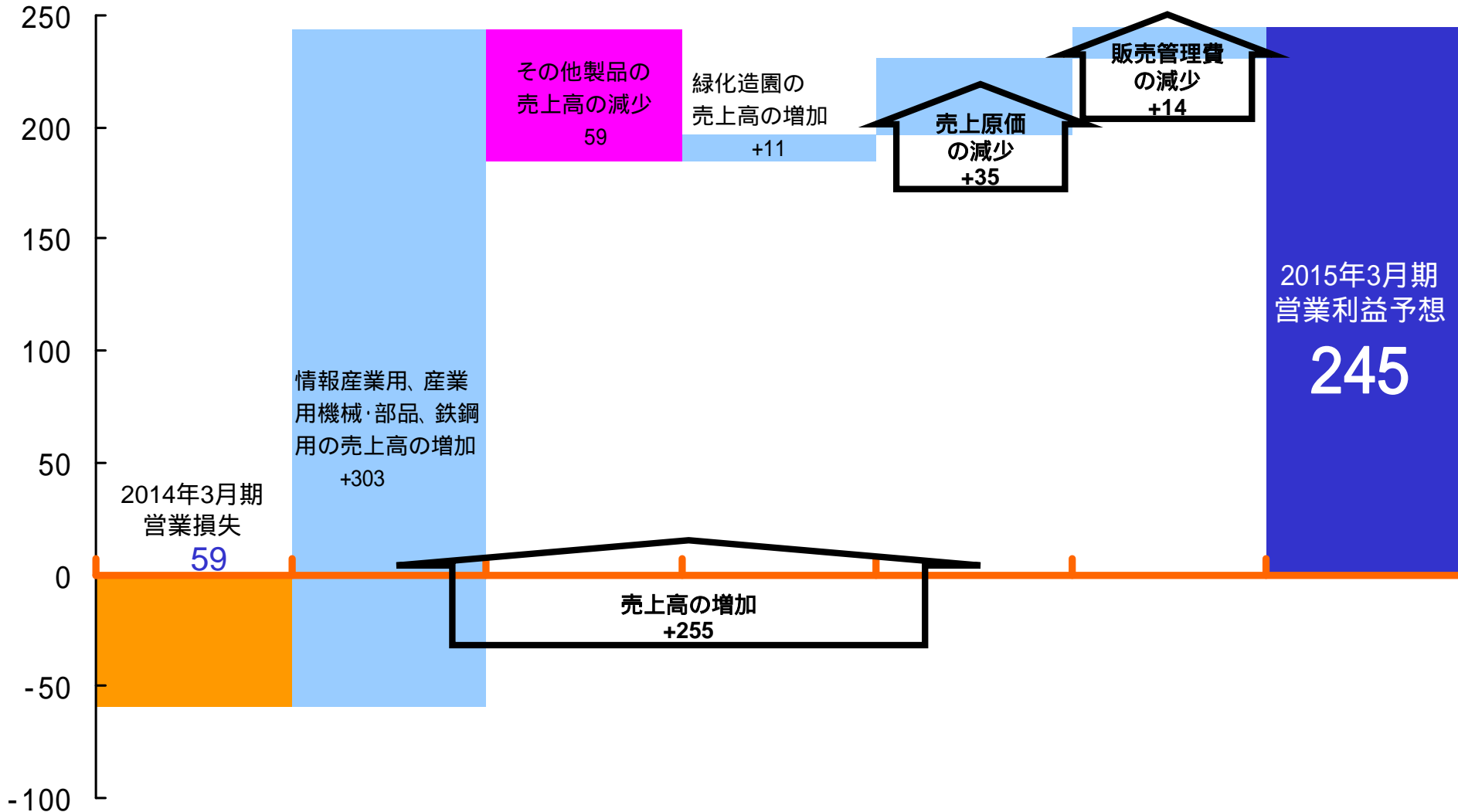
単位：百万円

	2014年3月期		2015年3月期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,755	100.0%	5,010	100.0%	255	5.4%
営業利益	59	1.3%	245	4.9%	304	
経常利益	105	2.2%	195	3.9%	300	
当期純利益	203	4.3%	155	3.1%	48	23.6%
1株当たり当期純利益(円)	20.39		15.53			

- ✓鉄鋼用、産業用機械・部品の堅調な需要に加え、主力の情報産業用の売上確保による増収を見込む。
- ✓業務改善活動“ライジング東洋2012”の継続取組みによる効率化の推進および高精度精密製品の販売強化により、更なる収益改善を目指す。

2015年3月期 営業利益予想（増減要因）分析

単位：百万円



2015年3月期 用途別売上高予想

単位:百万円

	2014年3月期		2015年3月期 (予想)			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	4,326	91.0%	4,570	91.2%	244	5.6%
鉄鋼用	790	16.6%	845	16.9%	55	7.0%
合板用	224	4.7%	224	4.5%	0	0.0%
製紙パルプ用	591	12.4%	554	11.0%	37	6.3%
情報産業用	1,140	24.0%	1,260	25.1%	120	10.5%
製本用	45	1.0%	55	1.1%	10	22.2%
産業用機械・部品	832	17.5%	960	19.2%	128	15.4%
その他	704	14.8%	672	13.4%	32	4.5%
緑化造園	429	9.0%	440	8.8%	11	2.6%
合計	4,755	100.0%	5,010	100.0%	255	5.4%

- ✓鉄鋼用は堅調な需要に加え、独自の加工技術を活かした石油・ガスパイプライン用鋼管関連製品の需要を取込む。
- ✓情報産業用の新規市場開拓による需要増、産業用機械・部品の設備投資にともなう需要増を取込む。
- ✓緑化造園は、造園工事及び管理業務の重点指向を継続し、震災復興関連事業の需要を取込む。

目標達成に向けての重点施策

情報産業用

刃物品質の優位性 + スリットテスト
対応の強みを活かし、難切断材化する
被切断材の顧客要求に応えていく。

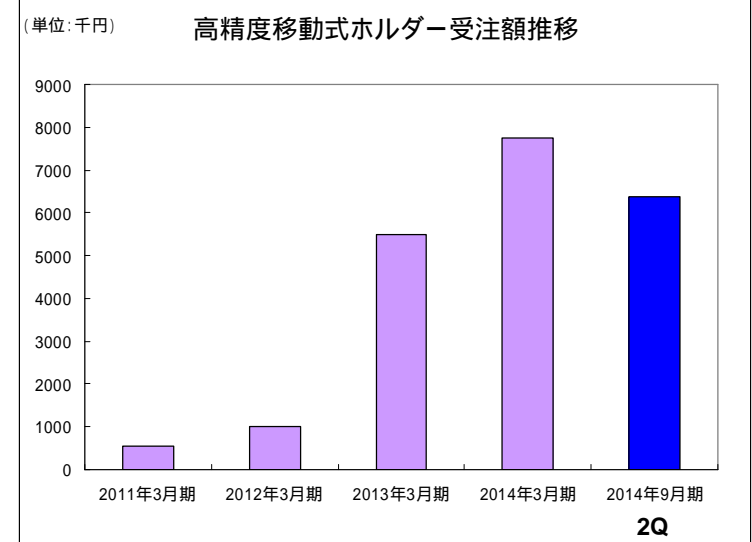
高評価（切断面改善、生産性・操作
性向上）の高精度移動式ホルダーを
展示会にも出展し、更なる拡販を図る。



【スリッティングマシン組込例】



【みやぎ優れMONO認定製品】



産業用機械・部品

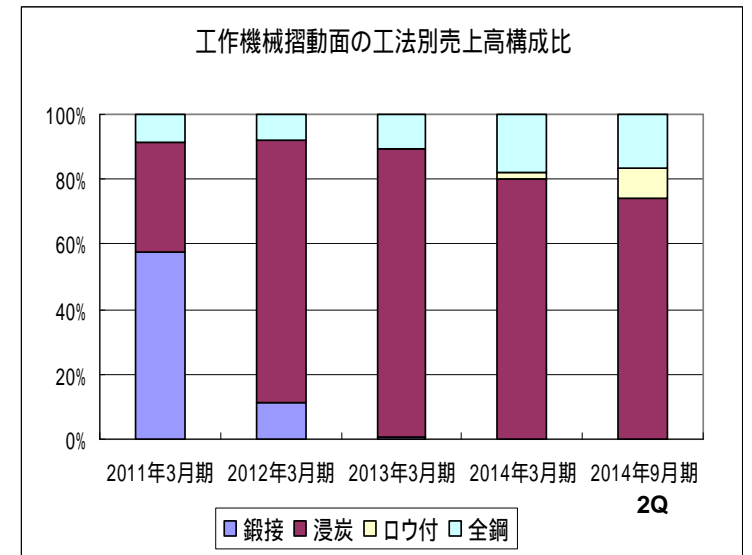
航空機関連を中心とした工作機械摺動
面の拡販を三工法（浸炭・ロウ付・全
鋼）別需要に応じ営業活動を展開する。

好調な産業用機械精密部品の製造体制を
整え、生産増を図る。

高効率モーター搭載の研磨機に対応し、
海外も含め拡販を目指す。



【工作機械摺動面（スライドウェイ）】



目標達成に向けての重点施策

鉄鋼用

需要増が期待できる差別化製品の石油・ガスパイプライン用鋼管関連製品の受注拡大を図る。



【鋼管関連製品】

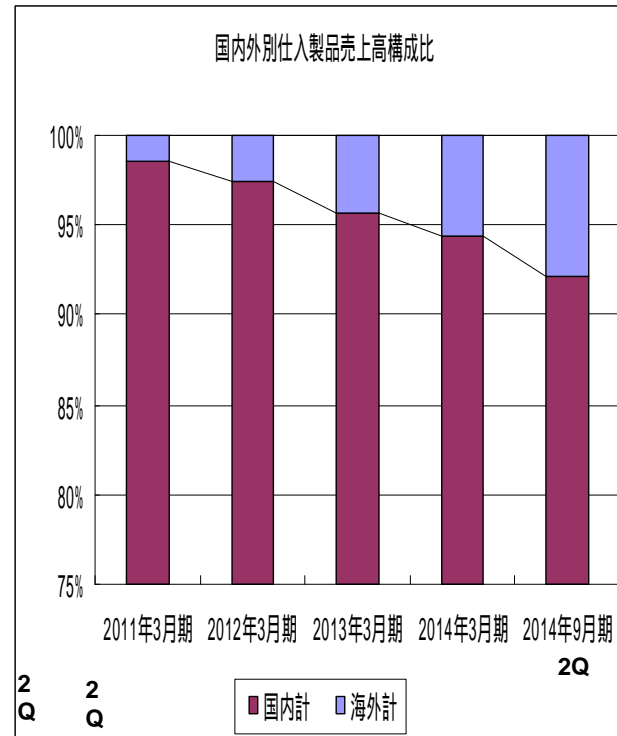


VA/VE提案を継続し、顧客の付加価値を高め売上増に繋げる。

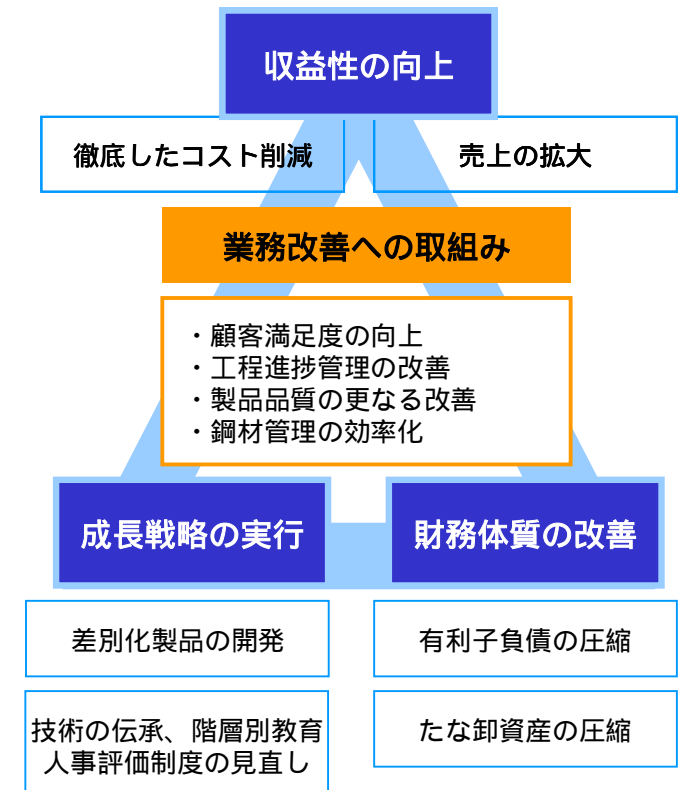
その他

当社ノウハウを活かした海外からの仕入品拡販に継続して取り組み、全体の売上増を図る。

業務改善活動“ライジング東洋2012”の継続取り組みにより、収益向上に繋げる。



ライジング東洋プロジェクト2012



**本件に関するお問合せは、
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。